

協定企業名	株式会社ツムラ
交流行事名	「土佐ツムラの森」交流活動
開催日時	平成28年11月11日（金） 13時40分～15時20分
開催場所	ヒューマンライフ土佐 馬越工場
主な参加者・人数	株式会社 ツムラ（15名）、越知中学校1年生（39名）と教員（3名） ヒューマンライフ土佐（5名）、越知町役場（5名）、高知県（3名） 総勢70名
交流活動の概要	越知中学校1年生を対象にした環境学習会（総合的な学習の時間） 講師：株式会社ツムラの歌川シニアマネージャー 農事組合法人ヒューマンライフ土佐の山中代表理事組合長
当日の様子	<p>株式会社ツムラとヒューマンライフ土佐の皆さんのご協力で、越知中学校1年生の総合学習の一環として、ヒューマンライフ土佐馬越工場にて視察研修が開催されました。</p>  <p>まず、農事組合法人「ヒューマンライフ土佐」の山中代表理事組合長から、「ヒューマンライフ土佐とは」と題して、写真や実物を見せながら、生薬の種類や収穫時期、加工方法、効能などについてのお話がありました。ショウガは剥いだ皮をそのまま乾燥したものと、蒸してから乾燥させたものとは効果が変わってくるなどの興味深い話に、生徒のみなさんは熱心に鉛筆を走らせていました。</p> <p>ツムラ株式会社の歌川さんからは、まず薬草、生薬、漢方の違いについて説明があり、話はツムラと越知町とのつながりへ。そこへいきなりのクイズ「越知町の自慢は何？」の問いに「自然が豊か！」「横倉山！」と生徒たちの手があがります。それを受けて歌川さん「自然の豊かさといえば、仁淀川は清流全国第一位。横倉山といえば牧野富太郎博士。これは君たちの誇りに思っって良い事です。」と越知町の素晴らしさを伝えました。</p> <p>続けて歌川さんは、ツムラの経営理念「自然と健康を科学する」を挙げ、津村順天堂としての創業から今日に至るまでの歴史や、漢方のメリットなど、クイズを織り交ぜな</p>

がら分かりやすく話してくれました。そして「漢方薬が自然の恵みでできていること」「自然を守ること」「ツムラができること＝協働の森づくり事業」を紹介して、講義を締めくくりました。ツムラの漢方を使っているという生徒もいて、生薬を作っている越知町とツムラのつながりをより身近なこととして感じたのではないのでしょうか。



その後、ヒューマンライフ土佐の新工場に移動し、出来上がったばかりの設備を見学しました。山中代表理事組合長から機器の機能や作業工程の流れについて説明があり、みんな工場の中をぐるぐると歩きながら、興味深そうに覗いていました。

最後に記念撮影をして、ここで越知中学校のみんなとはお別れしました。



交流活動の番外編となりますが、ツムラ関係者とヒューマンライフ土佐の方と一緒に、山の頂にある圃場「ツムラの森」を視察しました。ちょうど生薬の原料となるショウガの収穫の真っ最中で、夕暮れ時に黄金色に輝く畑で地元の方々が手際よく手作業する様子は、幻想的に見えました。漢方のもとになる生薬が、どんな風につくられているのか目の当たりにしたことで、ツムラのみなさんも深く感心しているようでした。



この後はお楽しみの懇親会が行われました。皆さま、1日お疲れさまでした。